

平成26年度ISO/TC46 国内委員会第1回本委員会  
議事録

1. 日時 : 平成26年7月7日(月) 14時00分～15時45分  
2. 場所 : 文京シビックセンター3階 会議室C  
3. 出席者 : 委員長 菅野 育子 愛知淑徳大学  
委員 宮澤 彰 国立情報学研究所  
保坂 裕興 学習院大学  
永田 治樹 立教大学  
大塚 奈々絵 国立国会図書館  
中島 康比古 国立公文書館  
樋口 清一 日本書籍出版協会  
植村 八潮 電子出版政策・流通協議会  
山本 宏義 日本図書館協会  
オブザーバ 橋詰 秋子 国立国会図書館  
オブザーバ 仲谷 文雄 富士ゼロックス  
経産省 千葉 孝義 経済産業省  
事務局 光富 健一 情報科学技術協会  
事務局 小野寺 夏生 情報科学技術協会

(敬称略・順不同)

4. 配布資料 :

- ・平成26年度ニーズ(安心・安全)・国際幹事排出分野に係る国際標準化活動実施計画書
- ・2013/12/9以降 ISO/TC46 投票案件と審議案件
- ・ISO/TC46/SC4-TC37/SC2JWG 報告
- ・ISO/TC46/WG2 報告
- ・TC 46/SC 4/WG11 RFID in libraries 会議報告
- ・TC 46/SC 4 WG14 ILL Transactions 会議報告
- ・TC 46/SC 4 総会 会議記録
- ・TC 46/SC 8 総会 会議報告
- ・SC9 ad hoc ID interoperability group
- ・ISO TC46/SC9 総会
- ・2014年 ISO TC 46/SC 11 ワシントン総会報告
- ・TC46 総会
- ・ILII プレゼンテーション
- ・ISO/TC46 活動組織

5. 議 事 :

- ・事務局より、情報科学技術協会の会長が小野寺夏生から時実象一に交代したとの報告があった。
- ・各自、自己紹介を行った。

5-1)平成26年度実施計画書について

実施計画書、委員会構成、および規格要約表について確認を行った。

本年度の事業目的として、国際規格の開発、具体的には国際図書館資料識別子(International Library Item Identifier)の規格開発、国際会議への出席、ISO/TC46 国際標準化活動を行う。

5-2)平成26年度ISO/TC46 投票報告と審議案件について

事務局より以下の報告があった。

・平成25年12月9日から平成26年7月7日までの投票済み案件は合計29件で、その内訳は、TC46 4件、SC4 14件、SC8 2件、SC9 5件、SC11 4件であり、投票漏れはなかった。

- ・審議案件は、7月7日現在、SC4 2件、SC9 1件である。

### 5-3)ISO/TC46 ワシントン総会報告

各委員から ISO/TC46 ワシントン総会の報告を行った。主なポイントは次のとおり。

#### (1) ISO/TC46/SC4-TC37/SC2JWG 報告（宮澤委員）

- ・ TC46/SC4 と TC37/SC2 の言語コード（ISO 639）に関するジョイントワーキンググループであり、TC37 が現在進めている方向に従って、進めることになった。

#### (2) TC 46/SC 4/WG11 RFID in libraries 会議報告（宮澤委員）

- ・ 図書館で RFID を使うにあたって、UHF に関する 28560-4 というテクニカルスペシフィケーションが承認されて進むことになった。

#### (3) TC 46/SC 4 WG14 ILL Transactions 会議報告（宮澤委員）

- ・ ILL は、図書館間相互の本の貸し出しおよび複写の申込等のやり取りを標準化したプロトコール。従来、ISO10161 と ISO10160 という標準があり、そのプロトコールの変更の要求があったが、現在でもつかわれているため、そのままして、新しいものを別途作ることが合意された。それが WG14 で、順調に進み ISO18626 という名前で出版されることとなった。

#### (4) TC 46/SC 4 総会 会議記録（宮澤委員）

- ・ 上の3つのほかに WG12 Work と WG13 Cultural heritage information interchange があり特に問題なっているものはない。
- ・ 今後の方向として、ISO15836 Dublin Core Metadata Initiative を拡張し Dublin Core Metadata Element Set を pt.1 とし、DCMI Metadata Terms を pt.2 とする案が策定中である。

#### (5) TC 46/SC 8 総会 会議報告（橋詰委員）

- ・ これまで Project ISO/NP19580 として行ってきた International archive statistics の作業を、新たに WG12 を設置して行う。

#### (6) SC9 ad hoc ID interoperability group 会議報告（菅野委員）

- ・ SC9 は識別子を管理、運営を行っているが、この会議は、識別子間の相互運用に関して、各担当者が集まる会議であり、そこで Linked Content Coalition(LCC)が提案された。

#### (7) ISO TC46/SC9 総会（菅野委員）

- ・ ISO17316 International standard link identifier(ISLI)を IS にした。
- ・ 今後の案件として、DataCite からの Metadata for scientific datasets、そして、日本からの International Library Item Identifier が検討される。
- ・ 韓国のサム議長が交代し、新しい議長をこれから選出する。
- ・ Ad hoc Identifiers Integrity Group の解散を承認した。

#### (8) TC 46/SC 11 ワシントン総会報告（保坂委員）

- ・ ISO15489 記録管理の改定に合わせ ISO23081 記録管理メタデータを改定するため、WG1 メタデータが活動を再開した。
- ・ WG9 MSR 基本-及び用語-を吸収し、名称を、記録マネジメントシステムにした。
- ・ ISO30300 記録のマネジメントシステム（MSR）関連では、30302 MSR-実施ガイド-の投票が7月末とされたほか、30303 以降で、想定されていた監視・測定/管理については、可能な選択を用意することになった。
- ・ ISO15489 改定関連では、名称を ISO15489-1 記録管理第1部：概念と原則を変更するととも

に、さまざまな環境における実施ガイドを含むように開発することとした。

- ・韓国から提案された TR17068 : 2012 デジタル記録のための信頼される第三者リポジトリを、DIS 投票にかけることを決議した。

#### (9)TC46/WG2 会議報告 (宮澤委員)

- ・これは国名コードに関する WG である。
- ・問題点は 2 点あり、1 点は、国名コードが無料ダウンロードできないということ。
- ・もう 1 点は、3166-1 での original script での国名の表示を加えるという改定。
- ・ISO/CS(中央事務局)が直接管理する MA(Maintenance Agency)の構成について、これまでの欧米のみから、他の大陸からの代表を入れるように検討しているため、日本から手をあげれば選出される可能性が高く、検討する価値がある。

#### (10)TC46 総会報告 (菅野委員)

- ・SC9 議長の Sam Oh 氏が、SC9 活動報告の中で宮澤委員によるプレゼンテーションとその内容を高く評価する報告を行ったことは、NWIP 準備への力となった。
- ・SC10 ( Requirements for document storage and conditions for preservation)が 2010 年に復活した時点では、日本はメンバー登録を行わなかった。
- ・SC10 について、日本は現在ノンメンバーではあるが、参加を望む段階であり、議長の Sebastian に日本で委員会の体制を整える意向を伝えた。

#### 5-4)国際図書館資料識別子 NWIP について (宮澤委員)

- ・委員より TC46/SC9 総会で、日本からの NWIP 提案のために使用したプレゼンテーションに従って以下の説明があった。
- ・ここでのアイテムとは FRBR のモデルのアイテムであり、図書館あるいは関連機関で保持される物理的資料を対象とした識別子である。
- ・ISIL で規定された各図書館番号とローカルな資料番号を組み合わせる構成される識別子であるため、新たな登録機関を設立する必要がなく、統一的な資料のデータ管理体系の提供を可能にする。
- ・委員会終了後、JISC より TC46/SC9 事務局に提出する予定である。

#### 5-5)その他

##### (1)TC46/SC10国内委員会立ち上げについて

- ・TC46/SC10とは、Requirements for document storage and conditions for preservation(文書保管の要件と保存条件)に関する標準化委員会であり、現在、日本はノンメンバーである。
- ・【TC42のエキスパートの発言要旨】TC46/SC10のISO11798:1999 permanence and durability of writing, printing and copying on paper -requirement and test methodsの見直しについて。これは紙の保存性と紙上の画像の保存性についての標準である。このISの特徴は、アナログの評価はできるが、デジタルの評価はできない欠点がある。2010年に見直したが、その時、5年間変更しないで継続を決定。次の見直しは2015年であるが、アメリカのエキクパートが辞退したため宙ぶらりんの状態。この状態を解決するため、TC42 PhotographyからTC46に代表を出してメンテナンスをすることも可能。日本のTC42からTC46に依頼して、日本のTC46からメンテナンスを提案することも可能。
- ・審議の結果、将来の画像保存等の重要性を鑑み、可能であれば、本年度中に国内委員会を立ち上げ、委員を選出し、PメンバーとしてTC46/SC10に登録することになった。(以 上)